

# 令和4年度 姫路市総合防災訓練・国民保護訓練 実施概要

## 1 日時

令和4年10月29日（土）午前10時00分～12時00分

## 2 会場

メイン会場：姫路市網干区網干浜4-1

「エコパークあぼし南側敷地及び周辺海上」

サブ会場：姫路市広畑区正門通三丁目2-2「西保健センター」

：姫路市林田町六九谷510-1「姫路市立林田こども園」

## 3 訓練参加機関

約60機関 約1,000人 ヘリコプター2機、車両約60台、船舶7隻

- (1) 国・県・市防災関係機関・消防団・医療機関・協定関係・ライフライン関係等
- (2) 地区連合自主防災会3地区（手柄、荒川、城陽）

## 4 訓練主眼

- (1) みんなでつなぐSDGs 住みやすいまち姫路のために

「SDGs11 住み続けられるまちづくり」を主眼に、高い確率で発生が懸念されている南海トラフ地震に対し、迅速に対応することで、人命等の被害を最小限に抑え、速やかな都市機能を再開させ、災害に強く住みやすいまち姫路を実現する。

- (2) 災害に強いまちづくり DXを活用した安全・安心なまち姫路を目指して  
災害に対し即時に対応するため、DXやAI等の最新技術を活用し、映像やオンライン等により関係機関と情報共有を図り、被害を最小限に止め、災害に強い安全安心なまちづくりの実現を図る。

## 5 訓練概要

- (1) 防災訓練

南海トラフ地震が発生、姫路市において最大震度6強を観測し、兵庫県瀬戸内海沿岸に津波警報が発表された。災害現場においては、住民による自主防災活動を実施するとともに、地震により発生した負傷者を医療機関等の連携による応急処置を実施し、さらに、自主防災組織による避難所運営やライフライン関係機関による復旧活動も実施する。

- (2) 国民保護

某国から化学兵器が積載されていると思われる弾道ミサイルが発射され、Jアラート鳴動後に、本市に落下し複数の住民が目の痛みや嘔気、呼吸困難を訴えている。本訓練では弾道ミサイル発射時の住民が取るべき行動や関係機関の連携の下、避難・救援等の初動対応を行う。

## 6 新たな取り組み

- ① デジタル防災行政無線、メールやアプリ等による情報発信
- ② 各災害現場とのリアルタイム映像による情報共有  
(ドローン、タブレット端末等)
- ③ オンラインによる連携訓練  
(災害対策本部と災害現場並びに気象庁等関係機関)
- ④ 新型コロナウイルス感染症に対する対応訓練
- ⑤ 電気自動車等を活用した避難所開設訓練
- ⑥ インクルーシブ訓練  
(災害時要配慮者、外国人観光客等対応訓練)
- ⑦ 市内福祉施設における福祉避難所開設運営訓練  
(オンラインによる状況把握)
- ⑧ 市内幼稚園における避難訓練  
(オンラインによる状況把握)

## 7 その他

防災に関する展示・体験コーナーを設置し、参加者・見学者の防災意識の高揚を図る。

## 8 会場図



エコパークあぼし南側敷地及び周辺海上